

	大泉橋戸公園の田んぼで 待望の稲刈り！ ～ 昔の風景を復元した「橋戸田んぼ」で小学生が収穫体験～
と き	平成 27 年 10 月 13 日(火) 午前 9 時～10 時 大泉第一小学校 午前 11 時～12 時 大泉北小学校 平成 27 年 10 月 15 日(木) 午後 1 時 30 分～2 時 30 分 橋戸小学校
ところ	練馬区立大泉橋戸公園（練馬区大泉町 2 - 9 - 34）
	<p>13 日（火）練馬区立大泉橋戸公園内の水田で、近隣の小学校 5 年生児童が、6 月に植えた稲の収穫を体験した。</p> <p>田んぼは、「橋戸田んぼ」として親しまれた地域の田園風景の復元を望んだ周辺の小学校や地域団体の強い要望を受けて区が整備したもので、管理運営は、地域団体の「橋戸水田自主管理会」が行っている。</p> <p>児童らは、管理会の方から説明を受けた後、鎌を手にして、稲刈りを体験した。収穫した稲は、脱穀および精米した上で、後日調理して、味わう予定。</p>



【稲刈りをする大泉北小の児童】

【橋戸田んぼの稲作風景を 小学生が再現！】

練馬区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていたものを復元整備したものだ。水田面積は 230 m²で 6 枚の田んぼに分かれている。平成 24 年度から周辺の大泉第一小、大泉北小、橋戸小の児童が毎年稲作体験を行っており、同校の児童らは今年 6 月に田植えを体験している。

子供たちは管理会の方から説明を受けた後、鎌を手にして田んぼに入り、見事に黄金色に実った稲の収穫を体験した。稲刈り体験を行った子供たちは「思ったよりも簡単に刈り取れた」「田植えから稲刈りまで自分たちでできてうれしかった」などと話していた。

また、田植え以降、除草、防鳥ネット張り、毎日の水量調整をしてきた橋戸水田自主管理会会長は、「今年は猛暑であったため、水温、水量調整に注意をしました。その甲斐があつてか去年より豊作でした。田んぼの管理は大変だけれど、稲刈りした時の子供たちの輝く笑顔に苦労も吹き飛びますね。体力が続く限り、今後も続けていきたいです。」と話してくれた。

また、ほかのメンバーからは、「子供たちは、稲刈りの仕方について、しっかり説明を聞いていた。鎌を使う機会が少ないにもかかわらず、うまく刈り取っていた。」と感心していた。

15 日（木）には、橋戸小の児童 80 人が、同様に稲刈りを体験する予定。

【田んぼの生き物たち】

子供たちは、手慣れた様子で作業を進めながら、田んぼの生き物たちに関心が行く様子だった。「大きなバッタがいた」「小さなカエルがいた。すごい。」と様々な生き物を手に、寄り集まっていた。管理会の方は、「カエルは年々増えている。ほかにもイナゴをみかけることもある。田んぼの環境が整ってきているんでしょうね」と、実感を語ってくれた。



【大泉第一小の稲刈りの様子】



【刈った稲を干す大泉北小の児童】